

会議要録

会議の名称	令和２年度 第２回和光市史編さん委員会
日 時	令和２年１１月１２日（金） １０：００～１２：１５
場 所	和光市役所 ５階 ５０２会議室
出席者 ※敬称略	【和光市史編さん委員会委員】委員１２名のうち１０名が出席 教育部長及び企画部長（第３条第１項本文） 結城浩一郎 学識経験を有する者（要綱第３条第１項第１号委員） 宮瀧交二、鈴木敏弘、小柳一彦、田中明、田中俊 和光市自治会連合会の推薦を受けた者（第２号委員） 伊藤芳夫 公募による市民（第４号委員） 佐々木好評、牧田忍 続編の編さんに係る事業を受託した事業者を代表する者（第５号委員） 佐々木寛司 【事務局】 【生涯学習課 和光市史編さんプロジェクト・チーム】 [チームリーダー]茂呂あかね [チームサブリーダー]鈴木一郎 [チームメンバー]糸野友也、相田由莉、(会計年度任用職員) 石田清、 坂口由加里 【委託業務受託者】 株式会社ぎょうせい関東支社 担当３名
傍聴者	０名

１ 開会

○事務局より報告・説明

- １ 欠席委員の報告
- ２ 新委員の紹介
- ３ 市民参加条例第１２条第４項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について。
- ４ 和光市史編さん委員会設置要綱第５条の規定に基づき、議事進行は委員長が行う。

○宮瀧委員長

自由に意見を出していただいて活発な意見交換ができればと思います。本日は佐々木寛司委員がいらっしゃっております。お忙しいなか、遠路はるばるご参加いただきありがとうございます。それでは、これより議事を進めさせていただきます。事務局より説明をお願いします。

○事務局より再提出された目次構成案について説明

○事務局 桑野

前回の和光市史編さん委員会では、主に編集方針と目次構成案について議論していただきました。編集方針については合意を得ましたが、目次構成案については結論に至らず、後日、株式会社ぎょうせいから再度案を提案してもらい、各委員のご意見をいただくことになりました。再提出された目次構成案については、各委員にご送付し、意見の有無について回答を得ました。本日はその結果を踏まえて、目次構成案についての委員会としての結論を出していただきたいと思いますと考えております。よろしくお願いいたします。

2 議題

(1) 和光市史平成版の目次構成案について
(2) 和光市史及び図説和光市の歴史をPDF化したCDについて
(3) 和光市史平成版作成の進捗状況について

○宮瀧委員長

前回の会議をふまえて事務局とぎょうせいとで緊密なやり取りをし、修正された目次構成案が各委員へ送付されてご意見を伺いました。

お手元に配布されている次第に沿って会議を進めさせていただきます。本日の議題は、議題第2号が和光市史平成版の目次構成案について、それから議題第3号がお手元に配布されております、和光市史及び図説和光市の歴史をPDF化したCDについて、議題第4号は事務局とぎょうせいとで会議・調整を進めていただいております、和光市史平成版作成の進捗状況についてです。

確認及びご質問等のご自由に適宜おしゃっていただいても結構です。よろしくお願いいたします。それでは「議題第2号 和光市史平成版の目次構成案について」審議を始めたいと思います。送付されております目次構成案についてご承諾いただいているということですが、ご返信いただいた後に何か気付いた点があれば議論の中でおっしゃっていただければと思います。事務局から報告はありますか。

○事務局 鈴木

ご回答いただいた全ての委員から目次構成案にご賛同いただけたことをご報告申し上げます。

○宮瀧委員長

目次構成案に関して何かご意見等がありますでしょうか。

【委員一同】 特になし

○宮瀧委員長

特に意見がないようですので、議題第2号の目次構成案につきましては、案のとおり進めていくことに決定します。何かありましたらまた後ほどおっしゃっていただければと思います。

それでは「議題第3号 和光市及び図説和光市の歴史をPDF化したCDについて」の議題に移ります。事務局から説明をお願いいたします。

○事務局 鈴木

和光市史及び図説和光市の歴史については、簿冊をPDF化してCDにしました。お手元に配布してありますPDF版の特徴は、調べたい語句、例えば【川越街道】という語句が、どの冊子のどこに掲載されているかを抽出することができる点にあると思います。今回はその抽出の仕方を説明したファイルをCD内に同梱してあります。説明書は3ページと4ページに記載してあります。この後、詳しい検索の仕方を実際に行いますので、お手元の説明書に沿って、実際にスクリーンで確認してもらいたいと思います。また、CDはお持ち帰りいただいて、後程ご自宅で操作した上で確認をお願いしたいと思います。

「和光市史(全6巻)及び図説和光市の歴史の単語検索」の操作方法をスクリーンに映し出し説明した

○宮瀧委員長

今の説明に関してご質問等はございますか。事務局への確認ですが、和光市のホームページ等に掲載されて市民の皆さんが利用できるようになるという理解でよろしいでしょうか。

○事務局 石田

和光市歴史の玉手箱のホームページへの掲載は、環境が整い次第掲載します。ホームページ上では、掲載しているPDFファイルがブラウザで開くため、今ご説明した簿冊間を通しての高度な検索ができません。検索をするためには、ホームページからパソコンにファイルをダウンロードしてアクロバット・リーダーで開く必要があり、その当たりの注意書きはトップページの下の方に記載してあります。ファイルをダウンロードしてから閲覧しますと、お手元にあるCDを見るのと同じ状態となります。

○宮瀧委員長

本日配布されたCDには何冊分のデータがPDF化されているのでしょうか。市史6冊分と図説和光市の歴史1冊分という理解でよろしいでしょうか。

○事務局 石田

全て入っており、CDのラベルの裏側に所収内容が記載されています。

○宮瀧委員長

和光市史及び図説和光市の歴史は現在も販売されているのでしょうか。

○事務局 鈴木

図説和光市の歴史は絶版のため販売はしておりませんが、和光市史は現在も生涯学習課の窓口で有償で頒布しております。

○宮瀧委員長

ホームページに掲載されることで市民の方々、また教育現場等で広く活用されることを期待します。PDFファイルの使い方や活用方法について質問やご意見等何かありましたらよろしくお願いします。

○鈴木委員

内容等に誤りがあった場合に訂正することは可能なのでしょうか。

○事務局 石田

既刊本をスキャンしてPDF化しているため現段階ではできません。

○宮瀧委員長

それでは「議題第3号 和光市史及び図説和光市の歴史をPDF化したCDについて」は、今後ホームページに掲載されるということで、和光市史平成版作成事業の中の1つが完了したということによろしいでしょうか。

【委員一同】異議なし。

○宮瀧委員長

議題第4号へ進む前に、本日は和光市史平成版の監修をされている佐々木寛司委員にご参加していただいております。和光市史編さん事業にどのような形で取り組んでいただいているかご挨拶を兼ねてお話いただければと思います。よろしくお願いいたします。

○佐々木寛司委員

目次についてご説明させていただきます。プロローグとエピローグという形で導入と結論部分を除きますと、本編は3部構成となっております。『和光市の平成をたどる』は基本的に1年単位で和光市の歴史を概観することとなっております。年単位にするか年度単位にするかは、あらためてご連絡させていただきます。3つの時期に分けて、さらに1年

単位の見開きにして見やすく構成いたします。この後に『和光市の^{かこ}歴史をふりかえる』となります。2ページ程度の見開きで、年単位で概観するという構成は普通の市史ではあまり見られず特異な方法ではありますが、取り入れてみるのもいいのではないかと思います、執筆者の磯の意見をそのまま採用いたしました。平成の時代を概観した後に平成の時代までの和光市の歴史とはどういうものだったのか、改めて振り返るということで原始・古代から昭和の後期までを対象に分析して、その間にトピックスを入れて詳しく見ていく。

『和光市の^{いま}現在をうつしだす』ではテーマ別に整理して分析していくという形をとっていかうと思っております。エピローグの『未来への展望』では和光市の個性、隣接市町村との協同事業等を分析しながら方向性というものを考えたいと思っております。

○宮瀧委員長

前回の会議で議論したことが、このような形で結実いたしました。続きまして、「議題第4号 和光市史平成版作成の進捗状況について」に進ませていただきます。この件につきましては株式会社ぎょうせいから説明をお願いいたします。追加資料の全体工程表と令和3年度年間行動計画についても併せて説明をお願いいたします。

○ぎょうせい 磯

「和光市史平成版作成の進捗状況(取材・ヒアリング等)について」に基づき説明させていただきます。6月から徐々に取材等をスタートさせました。手始めにフィールドワークといたしまして市内の北部と南部の公共施設や文化財等を中心に約100カ所ほどを2日間かけ、初日は徒歩で2日目は自転車でまわりました。

9月に入りましてからはヒアリングを開始いたしました。昭和61年から現在に至るまでの和光市の流れについての聞き取りを数度に分けて行いました。第1回目は昭和61年以降から平成の半ばまでの和光市の歩みについて田中俊委員にお話を伺いました。その後、おおむね70歳くらい～80歳くらいまでの元和光市職員の方、4名ずつを2回に分けて平成20年くらいまでのお話を伺いました。聞き取りと併せて平成版和光市史に何を残したいかも同時に伺っております。

10月には平成30年度和光市成人式実行委員会のメンバーである22歳の若者4人に座談会形式でいろいろとお話を伺いました。その中で、元職員の方から市史に残したいこととしてあがっていた和光市に基地があったこと、跡地をどのように活用するかという過程の中で今の和光市があるという話をしたところ、基地があったことを若者は知りませんでした。そのようなことを踏まえますと平成版和光市史での表現や伝え方の方向性があらためて見えてきました。

11月には市内在住の4名の方に地域の特性、普段の活動、コミュニティづくりなどのテーマを中心にお話を伺いました。また、アマチュア写真家の足立恵一氏に和光市の今昔に

についてお話を伺いました。昭和 30 年代から現在までの市内の写真を多数お持ちで、昔と現在の比較も出来るので写真の借用を検討していきたいと思っております。

○宮瀧委員長

和光市は生まれ育った場所とは違う環境で暮らし始めた住民の方も多くいらっしゃいます。その方々にも有益な内容で、また、文章はサービス精神にあふれた表現を意識していただけたらと思います。

続きまして、全体工程表と令和 3 年度年間行動計画について説明をお願いいたします。

○ぎょうせい 黒沢

編さん委員の方々にチェックしていただく時間と回数が多くなるよう、全体的に前倒しに調整をいたしました。本日、目次構成案はご了承いただきました。目次構成案に従って執筆した内容につきまして、特に和光市の平成をたどるというイメージを示すためにレイアウトサンプルを次の委員会までに提示させていただきたいと考えております。全体の校閲をしていただく際の執筆・編集・校正要領案も併せて提案できればと思っております。

原稿執筆作業にこれから入っていきますが、目次構成案の順番で書き進めて、全体の執筆が見えたところでプロローグとエピローグの執筆となります。委員の方に内容をご確認いただく 1 回目はライターの磯が執筆した原稿についてご意見をいただく期間となります。

次の段階は 1 回目の版下確認となります。A 4 版のカラーで早めにご提案できればと考えております。その次の段階は 2 回目の版下確認となります。最後に全体を通した版下を作成し、3 回目の確認となります。最終年度の 1 月には最後の確認をしていただき、予備に 1 カ月いただいて 3 月に印刷・製本という工程となっております。来年の 2 月にはイメージが示せるものをご提示させていただきたいと考えております。

○ぎょうせい 松川

令和 3 年度の年間行動計画についてご説明させていただきます。素案となっておりますので、進行の状況に合わせて適宜修正を加えさせていただきたいと思っております。執筆している段階で不足している資料等がある場合は 4 月から随時取材を追加させていただきたいと思っておりますが、8 月いっぱいを目途といたします。なお、写真撮影に関しては全体の工程として 12 回程度を見込んでおります。年内にはどのような写真を掲載するカリストを作成いたします。4 月以降に必要な施設や文化財、提供いただける物を除いて撮影を順次、季節に合わせて開始できればと考えております。年間を通して催事等があれば期間に合わせて撮影をさせていただければと思っております。また、空撮は 3 カ所を予定しており、5 月中旬から天候を見て準備させていただければと思っております。原稿の執筆が仕上がりましたら、事務局と監修者である佐々木寛司委員、当社で精査いたします。修正した後、写真等の版下と合わせて編さん委員会の前にお渡しして委員会で承認をいただくというスケジュールを考えております。

○宮瀧委員長

誤りがないよう事務局、編さん委員とで様々な角度からしっかり校正をしていきたいと思っています。また、調査を進めていく段階で掲載した方が良さだろうという内容が増えていくことと思います。手を広げすぎて刊行時期が延びないようによろしくお願いいたします。それでは、進捗状況と工程案を示していただきましたので各委員のご意見をお聞かせ願います。

○牧田委員

平成版和光市史の全体像が分かってきました。今後は具体的に提示された資料に関して発言していければと思っています。

○佐々木好評委員

原稿で使用する資料はどのように収集する予定でしょうか。

○ぎょうせい 磯

市役所の各部署に資料提供のお願いをし、課長クラスの方々にヒアリングを行います。

また、図書館の行政文書、郷土資料コーナーに資料が充実しておりますのでそちらでの収集を考えております。

○伊藤委員

作業の進捗状況の説明でありました、11月に行われた市内在住の4名の方のヒアリングですが、人選の基準はどういったものなのでしょうか。

お話を伺ったのは地域で貢献されている方々でしょうか。

○事務局 石田

坂下公民館地区から1名、中央公民館地区から2名、南公民館地区から1名の計4名の方々から話を伺いました。

○事務局 茂呂

(ヒアリングを行った4名の方の名前を公表)

それぞれの方が思う和光市の話、今後の和光市の若い世代に伝えていきたいことなどをお聞きしました。

○宮瀧委員長

ヒアリング等の調査の際に候補者の推薦もできると思いますので、結果報告だけでなく事務局からスケジュール等を事前に連絡をいただければと思いますが、可能でしょうか。

○事務局 茂呂

ヒアリングの内容にもよりますが、委員の皆様にご協力いただけるものについては、今後はそのような方向でご連絡させていただきます。当初の予定では各地域でお集まりいただいてお話を伺うところでしたが、コロナ禍の中で大勢で集まって話をするのが難しく、今回は各公民館長に相談をしまして調整をさせていただきました。

○田中 俊委員

それぞれの事業で今後の課題としてあげられるもののポイントを絞って整理していったらいいのではないかと思います。

1点確認ですが、目次構成の『和光市の現代を^{いま}うつしだす』の項目で「社会福祉の充実に向けて」があります。その中で【介護保険制度の開始と老人福祉】とありますが、老人福祉制度というのは旧制度で介護保険制度というのが現在の制度なのですが、ここでの老人福祉というのはどのように捉えているのかお聞かせください。

○佐々木寛司委員

高齢者福祉と表現とするのが適切かと思います。修正いたします。

○田中 明委員

ヒアリングについて、平成30年度和光市成人式実行委員会のメンバーである若者4人に座談会形式で聞き取りを行ったとの説明がありました。また、和光市になる前から市内に在住されているベテランの方々にもお話を伺ったとのこと。

今後、可能であるならば和光市で生まれ育った方、途中から転居されてきた方、それぞれの話を伺うヒアリングがあっても良いのではないかと思います。

○事務局 茂呂

今まで行ったヒアリングでは和光市で生まれ育った方、転居されてきた方といらっしゃり、以前住んでいた地域と比べてのご意見もいただきました。これからの和光市をどうしていきたいか、また、後世に何を伝えていくべきか等も含めまして様々な立場の方々から引き続きお話を伺いたいと考えております。

○宮瀧委員長

和光市で生まれ育った方と転居されてきた方が共存しているのが和光市の特徴でもあるので、今後ヒアリングを行う際はバランス良くご配慮いただければと思います。

○小柳委員

コロナ禍でありながらも様々なヒアリングを行っていただいたとのことです。和光市史平成版の中で残していかななくてはならないこと、記録しなければ忘れ去られてしまうことがたくさんあるかと思います。今回まとめるのが最後のチャンスなのではないかという内容も多数含まれてくると思います。

ぎょうせいさんには、さらに和光市に足を運んでいただいて細かいところまで見ていただきたいと思います。また、ヒアリングを今後も行うのであれば、色々なテーマを考えていただいて、幅広い方々からお話を伺って記録に残していただければと思います。

○鈴木委員

市史を刊行後に批判されることのないよう客観的で公平な内容を心がけていただければと思います。

○結城委員

和光市の平成は様々なことがあり、変貌を遂げた時代でもあります。既刊和光市史は専門的な内容が多いですが、今生きている時代を振り返る平成版和光市史では社会変遷や人々の考え方、和光市民の考え方が少しでも多く反映されると興味深い市史になるのではないかと期待しております。

○宮瀧委員長

進捗状況の資料ですが、作成日が本日の日付となっています。できれば次回は1週間前には作成していただいて、事務局とぎょうせいさんとで調整を行った上で委員会資料としていただきたいと思います。可能でしょうか。

○事務局 石田

進捗状況の資料は、事前にぎょうせいさんから提出していただき、修正した内容を本日の日付にて配布させていただきました。全体工程表と年間行動計画案は本日ぎょうせいさんから提出していただきましたので、私どもも初めて見る状況です。

全体工程表の原稿内容の精査ですが、編さん委員の方に見ていただくのは確認と表示されている期間になるということですのでよろしいでしょうか。

○宮瀧委員長

委員が確認するのが初稿ゲラの段階なのか、再校ゲラの段階とどちらになるのでしょうか。初校が済んだ段階でいうよりは、早い段階で見せていただき意見するほうが良いのではと思います。

○ぎょうせい 松川

確認と表示されている期間には文字原稿を監修の佐々木寛司委員と事務局と当社で調整

をするということとなっております。調整後、再度執筆をして修正した物を委員の方々に見ていただくこととなります。

○宮瀧委員長

初稿ゲラの段階で確認するということでしょうか。

○ぎょうせい 黒沢

文字原稿と写真を入れ、ページレイアウトがある程度出来上がった段階で確認をしていただきます。

○事務局 石田

文字原稿のみの段階で見ていただいた方がよろしいのではないのでしょうか。

○宮瀧委員長

文字原稿のみの段階と写真等が入った初稿ゲラの段階で確認するのとどちらがよろしいのでしょうか。

○鈴木委員

文字原稿の段階で見せていただいた方が良いのではないのでしょうか。

○宮瀧委員長

監修の佐々木寛司委員には編さん委員が文字原稿の段階で意見をしたものを含めて見ていただくというのはいかがでしょうか。

○佐々木寛司委員

ある程度形が決まった初稿ゲラの段階でいただいたご意見については大きな変更が難しいので、文字原稿の段階で出していただいた方が良いかと思います。

○宮瀧委員長

文字原稿の段階で委員の方々にご意見をいただいてから佐々木委員に監修してもらい、さらに初稿ゲラでも見せていただくということによろしいでしょうか。

【委員一同】異議なし。

○ぎょうせい 磯

平成版和光市史では写真を多く使うため、文字原稿のみですとイメージが伝わらない可能性があることをご承知していただいて上で、確認をしていただけたらと思います。

○佐々木寛司委員

文字原稿の欄外にこのような写真を使用する旨の明記があれば、委員の方々もイメージをしながら確認できると思うので、できる範囲で対応させていただきたいと思います。

3 その他

○宮瀧委員長

何かご意見はありますでしょうか。

【委員一同】特になし。

それでは、事務局からお願いいたします。

○事務局 茂呂

今年度の編さん会議は4回を予定しておりましたが、コロナ禍の関係で、次回の3回目の会議が最後となります。時期は、市史作成の進捗状況に合わせて、来年2月中旬を目途に開催させていただきたいと思います。後日、委員長と日程等を調整しまして、ご連絡させていただきたいと思います。

○宮瀧委員長

会議の場だけでなく何かご意見があれば適宜、事務局にご連絡いただければと思います。

4 閉 会